

【数研出版 100 周年】

— 数研出版・理科教科書発行の歴史 —

数研出版編集部

大正末期、「数研出版」の母体となる教育事業体「数学研究社高等予備校」が創設され、1923年(大正12年)11月に出版事業の原点となる雑誌「受験数学」を創刊いたしました。それから100年、2023年に、数研出版は創業100周年を迎えました。

サイエンスネット第78号では、理科のチャート式シリーズの歴史をご紹介しましたが、今号では、理科の教科書の歴史をご紹介します。

1. 数研出版で初めて発行した理科の教科書

数研出版で最初に発行した理科の教科書は、意外に思われるかもしれませんが、生物の教科書です。1958年(昭和33年)に『高等学校 生物(5単位用)』を発行し、翌1959年(昭和34年)に『改訂版 高等学校 生物(5単位用)』を発行しています。当時の学習指導要領では、生物は3単位の「生物」と5単位の「生物」があり、どちらかを履修することになっていました。

このころの教科書では、メンデル遺伝については詳しく扱われているものの、DNAについてはまだ扱われていませんでした。ワトソンとクリックによるDNAの二重らせん構造モデルの解明が1953年ですから、それも当然のことかもしれません。現在の教科書とほ

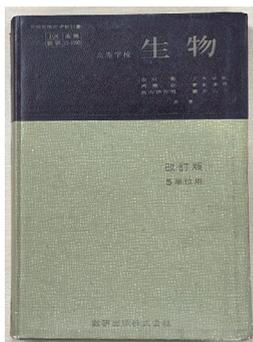


図1 改訂版 高等学校生物(5単位用)

ぼ同じ内容でDNAの複製やタンパク質の合成を扱うようになったのが、1973年(昭和48年)発行の『高等学校 生物I』、1974年(昭和49年)発行の『高等学校 生物II』からとなります。このときの学習指導

要領の改訂で、「教育内容の現代化」が図られ、学習内容が大幅に刷新されています。

2. 生物以外の教科書の発行

最初の物理と化学の教科書については、最初の生物の教科書を発行した15年後の1973年(昭和48年)に『高等学校 物理I』、『高等学校 化学I』を、翌年に『高等学校 物理II』、『高等学校 化学II』を、それぞれ発行しました。また、地学の教科書は、1982年(昭和57年)からの教育課程のときに初めて発行しました。この課程では理科I、選択物理、選択化学、選択生物、選択地学という科目構成となりましたので、理科Iの教科書を発行した翌年の1983年(昭和58年)に地学の教科書『高等学校 地学』を発行しました。

3. よりよい教科書を目指して

数研出版は1958年以来、理科Iなど複数科目がまとまった融合科目を含め、合計161点の理科の教科書を発行してきました。かつては1色刷りや2色刷りだった教科書も、現在ではフルカラーになり、美しい写真・見やすい図版を豊富に掲載しています。また、内容も、単に「知識・技能」を習得するだけでなく、「学問への興味・関心」を高め、「思考力・判断力・表現力」を養うことができる教科書を目指してきました。これからも、生徒の皆さんにとってよりよい教科書を提供したいという思いをもって編集していきます。

「数研出版 100 周年記念サイト」

100周年を記念してサイトを開設!

<https://www.chart.co.jp/100th/>



サイエンスネット第79号 2024年5月発行(年3回発行予定)

発行所 数研出版株式会社

東京 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2丁目3番地3

京都 〒604-0861 京都市中京区烏丸通竹屋町上の大倉町205番地

〔HP〕 <https://www.chart.co.jp> 〔電話〕 代表 (075)231-0161

150478



本書は植物油インキを使用しています。